

2017年10月
1129号

百葉

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5

(一冊の会研究室)

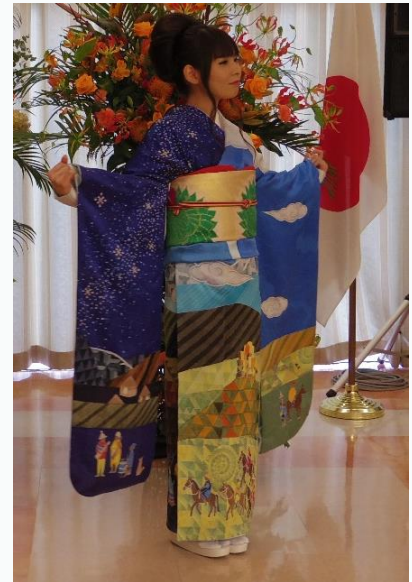
祝

天空の王国 レソト王国 51 回目の独立記念日 ～歴史を刻み、未来を共に創り上げよう～

レソト王国が1996年にイギリスから独立して51年目の2017年10月4日、憲政記念館の会議室にてレソト王国独立51回目記念日レセプションを開催いたしました。素晴らしい秋晴れの空の下、涼やかな空気に包まれて今日の日をレソト王国大使館と共に迎えることができたことを大変喜ばしく思います。

日本レソト王国友好協会は2008年5月モシシリ首相来日の折、一冊の会永久最高顧問である故相馬雪香先生・故園田天光先生と共に設立し、その意志を引き継ぎ来年には10年の節目を迎えます。これもひとえに代々の首相、大使を始め、大使館の皆様との厚い信頼関係の賜物と感謝申し上げます。

本日のレセプションには農林水産副大臣谷合正明氏、アフリカ諸国の大使館関係11か国を始め、外務省や多くの有識者が訪れ祝辞を述べ喜びを分かち合いました。ヤングネ臨時代理大使は民族衣装・正装時のマントに身を包み、入口で参加者をお出迎えしてくださいました。



司会の城杉さん

冒頭、レソト王国・国歌を鬼童さんが熱唱、続いて君が代を斉唱。次にヤングネ臨時代理大使が開会のご挨拶。レソト王国ではこの日を最も大切にしていることが伝わってまいりました。

公明党山口代表の奥様を始め、有識者が大勢ご出席でしたが時間の都合上、来賓を代表して外務省アフリカ部部長大菅岳史氏からご挨拶を賜りました。また厚生労働副大臣高木美智代氏、福島県相馬市長立谷秀清氏からお祝いの電報が届き、司会が英語と日本語で紹介しました。次に一般社団法人イマジン・ワンワールドから、レソト王国をイメージした着物のお披露目がありました。日本レソト王国友好協会・会長である大槻会長の乾杯の前に、レソト王国の子ども達へ、サプライズプレゼントを贈呈致しました。10月の“ハロウィン”にちなみ、カボチャの入れ物に国連ウィメンさくらのTシャツなど1人1人ヤングネ臨時代理大使にお手渡しいたしました。驚いたことに、臨時代理大使から大槻会長にもサプライズプレゼント！

なんと、臨時代理大使自ら大槻会長に正装時に身につける青いマントをかけてプレゼントして下さいました！
乾杯・歓談の後は、一冊の会親善大使ドン・アルマスが情熱的な演奏で会場を盛り上げました。



上：プレゼンターの皆さん
左：ENSEMBLE IRISの皆さん
とドン・アルマス

また、一冊の会の会員の佐藤玉美さんが所属している「ENSEMBLE IRIS」によるコーラスは皆さんを楽しませて下さいました。思えば、東日本大震災が起こったのは日本レソト王国友好協会が発足して3年弱の頃でした。以来6年半、私共はレソト王国と共に東北被災地の各地に支援を続けてまいりました。特に昨年11月、国王・王妃両陛下が来日され福島県相馬市をご訪問いただいたこと、復興を象徴する願いをこめた「雪香プロスパーポローニア」を植樹され被災者と触れ合い温かく励ましてくださったことは望外の喜びです。先月末にもレソト王国大使館と共に、南相馬市に植樹をしてまいりました。来年、福島県で全国植樹祭の開催が予定されておりますが、南相馬市はその会場となります。

ヤングネ臨時代理大使と共に、レソト大使館と外務省と私共の連帯を固く持ち、日本とレソト王国の友好が今後も続き、益々関係が深まるよう着実に歴史を刻んで参りますことを誓います。

日本レソト王国友好協会 会長大槻明子 挨拶

秋晴れのもと、レソト王国独立記念日という意義ある日を、大使館の皆さまと共に迎えることができました。レソト王国は1966年10月イギリスより独立して以来今年で51年。半世紀という流れの中、昨年11月、国王・王妃両陛下が日本を初訪問。光栄にも当協会と親しく交流をさせていただく機会に恵まれ、レソト王国と日本の深い絆を結ぶことができました。

また、国王陛下が昨年12月、国連食糧農業機関（FAO）の特任大使という重責にご就任されましたことは、私どもの活動の励みとなっております。

日本レソト王国友好協会は2008年5月、私たちの今は亡き永久最高顧問の相馬雪香先生・園田天光光先生とご一緒に、モシシリ首相が来日の折に設立致しました。今年で9年、来年は10年の節目を迎えます。これも代々の首相・大使はじめ、大使館の皆様との厚い信頼関係で育まれた賜と感謝申し上げます。

その間2011年3月11日に東日本大震災が発災し、以来6年半レソト王国と共に支援活動を続けてまいりました。特に力を入れているのが津波で被災した沿岸地域に「復興祈念樹」を植樹する支援です。植樹の木は、成長が早く6・7年で成木になる桐で、CO2の吸収率が大きく環境にも良く繁栄する、まさに復興を象徴する願いをこめて「雪香プロスパーポローニア」と名付けています。

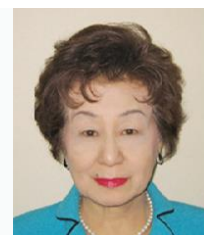
発災以来、大使をはじめタバネ首相、去年は国王・王妃両陛下が東北相馬市をご訪問され植樹をしていただき、被災者と触れ合い暖かく励まして下さいました。

また、先日、南相馬市で大使館と共に植樹をしてまいりました。来年「全国植樹祭」が福島県で開催することが決定しており南相馬市がその会場となります。その先駆けとして、南相馬市長を中心に感動的な「復興祈念樹」の植樹ができました。今回でレソト王国と共同の植樹は8か所になりました。

ヤングネ臨時代理大使とともに、信の厚き友情の連帯も固く着実に歴史を刻んで参ります。



スィカケコ ヤングネ
臨時代理大使。



会長 大槻明子
日本レソト王国友好協会